

獨 協 大 学 長 殿

派 遣 交 換 教 員 報 告 書

私は、派遣交換教員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。 つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報告日	2024 年 5 月 31 日	所属	国際教養学部
職名	教授	氏名	林永強 (柳)
派遣先	東呉大学		
派遣期間	2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日		
大学から支給された費用* (要清算書類) 「学術交流協定に基づく派遣交換教員のための特別研究資料費及び渡航雑費の補助に関する取扱い」の第8条に基づき別途対応		特別研究資料費	500000 円
		渡航雑費	500000 円
研究テーマ			
西田幾多郎の道德哲学の再考：儒教と徳倫理学を中心として			
報告事項 (1. 派遣先大学における教育・研究経過 2. 派遣先大学におけるその他の活動 3. その他 を記入)			
1. 「日本倫理学」(学部)と「日本哲学専題」(大学院)という科目を担当した。そして以下の講演や学会発表を行なった。 ・ “From Knowing-to to Feeling-to: On Nishida Kitaro's Moral Philosophy”. International Mini-Workshop in Philosophy. Department of Philosophy, Soochow University, 27-28th April 2023. ・ “Event-based Agent: On Kimura Bin's Philosophizing of Self”. International Workshop on East Asian Ethics: Knowledge and Action. Department of Philosophy, Soochow University, 23rd February 2024. ・ 「美德倫理学：從西田幾多郎的觀點看」東呉大學哲學系、2023年12月20日。 ・ 「三木清の行為哲学：情感與身體」東呉大學哲學系、2023年12月22日。 2. International Workshop on East Asian Ethics: Knowledge and Action. Department of Philosophy, Soochow University, 23rd February 2024を主催した。			

* 提出先： 所属学科長 → 所属学部長 → 国際交流センター所長 → 副学長 → 学長

3. 派遣中には、以下の学会発表や講演を行ない、論文を出版した。
- ・ 「情的文化：從西田幾多郎的觀點看」國立臺灣大學日本語文學系、2023年5月9日。
 - ・ "The Feeling of Congruence: From Shaftesbury to Nishida Kitarō." Practical Philosophy across East Asian Traditions. Department of Philosophy, National Chengchi University, 6-7th October 2023.
 - ・ "From Feelings to Norms: A Nishidaian Approach". International Symposium "Social Norm, Sentiment and Ethics in Japanese Philosophy from the International Perspectives". Department of Philosophy, National Taiwan University, 5th November 2023.
 - ・ 「美德倫理學：從西田幾多郎的觀點看」中國文化大學Eurasia講座、2023年11月16日。
 - ・ 「西田幾多郎、儒學與道德情感：情動倫理學的創建」「東亞儒學經典的傳統與當代國際學術研討會」臺灣大學人文社會高等研究院東亞儒學研究中心、國立臺灣大學、2023年12月18-19日。
 - ・ 「三木清の行為哲學：從美德倫理學的觀點看」國立政治大學哲學系、2023年12月29日。
 - ・ 「西田幾多郎、儒學與道德情感：情動倫理學的可能性」中央研究院中國文哲研究所、2024年2月1日。
 - ・ 「東亞視野中的情動倫理學」國立臺灣師範大學東亞系、2024年3月5日。
 - ・ 「情的文化：西田幾多郎的日本文化論」國立臺灣大學國家發展研究所、2024年3月14日。
 - ・ 「西田幾多郎的理性與倫理」「現代日本與傳統：由哲學的省思」工作坊、國立臺灣大學哲學系、2024年3月16日。
 - ・ 「物語ることと聞くことのはざまで：感じ取ることについての試論」「求真」第28号、2023年、93~105頁。
 - ・ "The Feeling of Happiness: Moral Sentimentalism and Knowing-to: On Nishida Kitarō's Energetism." Kido, Atsushi, Noe Keiichi and Lam Wing Keung. eds. Tetsugaku Companion to Feeling. Dordrecht: Springer, 2024, pp. 39-50.